

週報

【No.820 2018/8 第2例会】

例会日:毎週金曜日
 例会場:碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1
 TEL:0566-75-8866
 FAX:0566-74-5678
 Email:anjo-rc19580206@katch.ne.jp
 HP:http://www.anjo-rc.org

第2966回例会

2018年8月10日(金) 12:30~
 司会者:兵藤 幸男君
 ソング:「手に手つないで」「四つのテスト」
 卓上花:スプレーバラ・かすみ草
 ニコボックス報告:亀島 深里さん



2018-2019年度RIテーマ:
「インスピレーションになろう」

安城ロータリークラブ会長方針:

「あなたの街でロータリーを！あなたの街からロータリーを！」

- 会長:横山 真喜男
- 幹事:杉山 淳一
- クラブ会報:小林喜司男・服部敦・丸山光夫
- 創立日:S33年1月10日
- RI加盟認証日:S33年2月6日

■ 会長挨拶

横山 真喜男会長



■ 出席報告

東 隆将君

会員	55名
出席義務者	43名
出席	40名
欠席	12名
出席免除者の出席	9名
出席率	77.00%
修正出席率	7月27日 第2964回例会 92.50%

■ 幹事報告

杉山 淳一幹事

1. 今年度の会員名簿の訂正をお願い致します。
2. 8/18(土)7:00~国際奉仕事業のインドネシアへ送るランドセルの梱包作業を行います。
3. 8/24(金)ガバナー補佐訪問日、11:30~懇談会、例会終了後クラブアッセンブリーを行います。
4. 8/31(金)の例会時に、9月のお祝い(会員誕生日・配偶者誕生日・結婚記念日)を行います。
5. 8/19(日)まで事務局はお休みです。急用の方は杉山幹事(090-1626-4267)まで！

◆ イニシエーションスピーチ

浜田 周作君

みなさん、こんにちは。私は東海東京証券安城支店の支店長をしております、浜田周作と申します。5月18日から「歴史と伝統ある」安城ロータリーに入会させて頂き、本当に光栄に思っております。

実は私は、岡山支店から転勤で安城にきたのですが、岡山支店は40年以上経つ店にもかかわらず、ロータリークラブに所属していない支店でした。ですが突然昨年本部から、ロータリーに入会しろと指示が来まして、やっと今年の9月末に岡山南ロータリーに入会させて頂きました。岡山南ロータリーは何と会員数が163名もいまして、私が入会した9月だけで私含め4名の新入会員が居た為、今年の3月ようやく半年経ってイニシエーションスピーチの順番が回ってきました。ですので、ついこの前スピーチをしたばかりのような気がします、本日は新しく入会させて頂いた安城ロータリーで気持ちを新たに、イニシエーションスピーチをさせて頂きます。



「親睦」と「奉仕」がロータリーの基本的な理念ということは既にお聞きのことと思います。親睦は、わかりやすい言葉であると思います。

ところが、「奉仕」は英語のserviceの翻訳ですが、日本語の短い言葉としての単語は無いというところが、少し難しくしています。

serviceはserveの名詞形であることをご承知のとおりです。テニスやバレーボールのサーブと同じです。そして、serveとは、英英辞典では「to do something for someone as ones duty」とされ、直訳的には、「その人の義務として、誰かのために何事かを為すこと」。

まずい訳で恐縮ですが、日本語の短い単語として、このような概念はなく、先人は「奉仕」の語を宛てられたのだと思います。

「奉仕」とは、日本の辞典によれば、一般に「報酬を求めず、また他の見返りを要求するでもなく、無私の労働を行うこと」をいうとされています。

奉仕の理念の実践こそが、ロータリーの目的であります。五大奉仕の中のクラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の4つは、わかりやすい概念です。

- ・クラブ奉仕は、クラブの例会、親睦活動、委員会活動などのために行動すること。
- ・社会奉仕は、地域で困っている人を助けたり、地域社会の生活向上のために役立つことを行うこと。
- ・国際奉仕は、国際親善、国際理解への手助けや、外国、外国人を援助し、世界平和を推す活動すること。
- ・新生代(青少年)奉仕は、青少年の健全育成の手助けをすること。

しかし、職業奉仕とは何か？ 自分の職業のために奉仕すると考えたのでは全く訳が分かりません。

また、「職業」とは自分の利益のために行うものであるのに、「奉仕」は、世のため人のためにつくすことであるから、矛盾しているではないか、とか

職業奉仕とは、「自分の職業を通して社会に奉仕することが職業奉仕である」と言われることもありますが、それでは社会奉仕と同じではないか？ 自分の職業を通して通さなくても、社会に奉仕するなら結局それは社会奉仕ではないかとの疑問です。

このような状況について、「職業奉仕とは何か、考えれば考えるほどわからない、」と大先輩ロータリアンからも聞いたことがあります。

確かに、「職業奉仕」という概念だけは特殊ですね。

そこで、これからのお話は、「職業奉仕」とは何かについて、先人がいろいろ議論されていますので、それらをご紹介します。少しでも分かりやすい方向に行きましようということで、進めて行きたいと思います。

職業奉仕について

1. 「職業奉仕」という言葉

この言葉は、ロータリー特有のものでありまして、広辞苑などの日本の辞書には載っていません。仕事の上などで出会った人で、「職業奉仕」という語を使う人がいたら、それは間違いなくロータリアンでしょう。

まず、先ほど述べましたように、職業奉仕という言葉を分解して、職業を営む心(=お金を儲ける心)と奉仕の心(世のため人のために尽くす心)は矛盾するようですが、これを統一的に理解するために、2640地区職業奉仕委員長角谷氏は、職業奉仕とは、「世のため人のために奉仕する心を持って職業を営むべし」ということであると解釈されました。少し分かりやすくなりました。

具体的には、自分の金儲けについて、人を泣かせるような金儲けをしてはいけない、人を騙して金儲けしてもいけない、非道徳的、非社会的行為をして金儲けしてもいけない。世のため人のためになるような金儲けの仕方をしなければならぬということです。

言い換えると自分の職業について、強く倫理性を求めているのです。

これはロータリーの目的第2にありますように、職業奉仕とは、職業倫理の運動です。深川純一先生がよく言われるところの、「ロータリーは、職業倫理を追及する運動である。」ということです。

私は、会長研修の際、この深川先生の一言で、ロータリーの本質とは、これかと理解でき、目からコンタクトレンズが落ちたかと思ったら、ウロコでしたという気持でした。

2. 次に「社会奉仕」とどこが違うのか？ の問題を取り上げます。

職業奉仕とは、職業を通して社会のニーズを満たすことであるとロータリーは百科事典には書いてありますが、それは結局社会に奉仕しているのと同じではないかという疑問です。

この点については、やはり深川先生が解説しています。

それは、「奉仕活動によって、受益者＝利益を受ける者が、自分以外の地域の人々、もしくは地域社会の場合は社会奉仕ですが、奉仕活動による受益者が自分自身の場合は、職業奉仕でありましよう」というものです。

職業奉仕によって、自己の職業の品位と道徳水準を高め、自分を社会から尊重される存在にすることができる。職業を通して、従業員、取引先、関係者の模範となり、道徳的能力を向上させることに努める、そのような仕事の仕方をロータリーでは職業奉仕と呼んでいるということです。

少し、分かりやすくなりましたかな？

具体例としては、深川先生は、「職業奉仕委員会が、優良な従業員の表彰することがあるが、厳密に言えば、会社で働く優良な人を表彰するのであるから、社会奉仕というべきだが、それによってロータリーも、そのような表彰をすること自体を尊敬されることになるから、社会奉仕80%、職業奉仕20%」だと述べています。また、上記の角谷氏は、「泉南RC会員で動物病院を経営している方が、市内の公園の砂場で、犬猫のフンからぎょう虫が混じっていることがあり、そのための検査をして、園児が感染しないように健康管理を目的の活動をしている」ことを例に挙げ、この受益者は、園児及び園児の親であり、社会奉仕であるが、同時にその会員が自分の職業を通して園児らの健康管理ということを考え、実践されたことで、尊敬の念を持たれている。地域の人から尊敬と信頼、信用を得ている。その結果、自分自身の職業＝動物病院が繁栄する、これこそ職業奉仕であるとしています。

このように社会奉仕が同時に職業奉仕であり、両者は一体のものである場合もあるということです。

さらに分かったような気がしてきましたでしょうか？

では、次ぎに、職業奉仕実践のための基準となるようなものがあるでしょうか。

私は、今でも忘れませんが、2014～2015年度職業奉仕委員長青山竜也くんは、「職業奉仕とは、職業上の倫理を高める行動あるいは職業上の道徳的水準を上げるための行動であり、分かりやすく言うと、4つのテストの仕事における実践である」と見事に看破されました。

そこで、次ぎに四つのテストの話をししたいと思います。

四つのテストについて、

ロータリーの哲学を端的に表現し、「職業奉仕の理念」の実行に役立つものとして、「四つのテスト」があります。

政治や宗教に関係なく、すべての人びとの倫理的指針となるこのテストは、100カ国語以上に翻訳されています。

1. その歴史は次のとおりです。

このテストは、シカゴRC会員で、後にロータリー創始50周年(1954-55)に、RI会長を務めたハーバート・J・テーラー (Herbert J. Taylor 1893~1978) が創案したものです。

テーラーは1932年、倒産寸前のアルミ食器会社の再建を任されたとき、モラル向上の方法として“言行はこれに照らしてから”の「四つのテスト」を作りました。

以来、創案は改変され現在の「四つのテスト」を、RIでは職業奉仕にふさわしい職業倫理訓として認めています。1942年、彼は「四つのテスト」を使用する権利をRIに付与、1954年のRI会長就任時には、著作権もRIに譲渡しています。

テーラーは、シカゴに本拠をおく株式会社の代表でしたが、アメリカの大恐慌の際(1932年)、従業員250名のアルミ食器会社を破産の危機から救ってほしいと要請され、この会社を再生させる決心をしたのです。

大不況の中で、低迷している会社を再生させるには、会社の中に、同業者にはない何かを育成しなければなりません。

テーラーは、その何かに、社員の人格と信頼性と奉仕の心を選んだのです。

その育成の指針として会社の全従業員が使えるような「倫理上の尺度」として作られたのが四つのテストです

その会社の4人の部長は、それぞれ宗教的立場が違いましたが、全員、このテストが、自分の信じる宗教に合致するだけでなく、会社や個人の生活にも模範となる価値観を与えてくれると述べたということです。

四つのテストは簡単な言葉ですが、アルミ食器会社の苦境期の決定を下す基盤となりました。

会社の広告も、このテストに照らし合わせて検討し、最上、極上などの表現を避け、製品の実際の姿を手短に述べるかたちになりました。ライバル会社への非難、悪口は、広告や販売推進パンフレットから姿を消しました。

従業員は四つのテストを暗記するよう求められ、やがて、テストは、仕事のあらゆる面における指針となりました。

その結果、信頼と好意の雰囲気、取引先や顧客や従業員の中に生まれ、会社の業績が次第に好転していききました。

5年後の1937年までに40万ドルの負債は利子とともに完済され、その後の15年間で、会社は株主に対して100万ドル以上の配当を行い、その資産は200万ドル近くになりました。

テストによって自分の生き方が変わった、と述べる手紙が数えきれないほどハーバートテーラーのもとに寄せられたということです。

2. ご承知のとおり、四つのテストは、以下のとおりです。

(THE 4-WAY TEST)

言行はこれに照らしてから

(Of the things we think, say or do)

1) 真実どうか？ (Is it the TRUTH ?)

2) みんなに公平か？ (Is it fair to all concerned ?)

3) 好意と友情を深めるか？ (Will it build goodwill and better friendship ?)

4) みんなのためになるかどうか？ (Will it be beneficial to all concerned ?)

「TEST」が「TESTs」と複数形でないのは、このテストが一体のもので、個々バラバラに理解するものではないから、とされています。

ロータリアンの言行は「この四つの問いのすべてに『イエス』と答えられるものでなければならない」ということを忘れてはなりませんと言われています。

・四つのテストは世界各国の言葉で翻訳され、広く活用されていますが、その位置付けに関しては、「いかなる意味においても、規則として取り扱われてはならない」と規定されています。

また、人間関係における道徳的水準の向上を図り、それを維持するために、書簡箋や印刷物に使用することが奨励されています。

しかし、販売や利益を増すための広告と結びつけることは禁じられています。

・日本語訳は、東京クラブの本田親男氏の翻訳によるもので、1954年以来、日本人ロータリアンが座右の銘として親しんだ名訳ですが、その一方で、ハーバート・テラーがこのフレーズを作った意図が完全に翻訳に反映されているか否か、疑義を抱いている人も多いようですし、原文の精神が適切に表現されていないとの指摘もあります。

3. では四つのテストはどういう場面で適用されるのでしょうか。

A: 田中毅氏(源流の会会長)の説

もともと商取引に関連して作られた原則であるので、商取引に限定して用いるべきである。

その理由

①2番目の「all concerned」は「みんなに」と訳されているが、四つのテストが商取引の基準として作られたことを考慮すれば「concerned」とは関わりのある人、すなわち取引先のことを意味することは明白であり、このフレーズは「全ての取引先に対して公正か」ということを意味する。

②3番目の「goodwill」は、単に好意とか善意を表す言葉ではなく、商売上の信用とか評判、店ののれんなど意味する。「信用を高め取引先を増やすか」と訳すべきである。

③4番目の「beneficial」とは「儲け」を表す言葉で、みんなの「ため」と訳すべきでなく、「全ての取引先に利益をもたらすか」と訳すべきである。

B: ロータリー研修委員会の説

「ロータリーの会員には、その職業が商取引には直接関係しない人達がかかりい ることや、四つのテストが、商取引以外でも使われる可能性が高いことを考慮 すれば、ロータリアンの日常生活のすべての言行に適用できる邦訳の方が適切 とも考えられます。」

C: 深川純一説

「会社のように、共通の目的に向かって皆が協同して努力するような場合」に適用できるものである。日常生活の全てに適用すると不都合が生じる。

例えば、ガンの告知、相手の容貌を正直に告げる、子どもに対する場合など

では、どの説が正しいというべきでしょうか？

これに対しては、初期のシカゴのロータリーで、親睦派と奉仕派の対立が先鋭化した際のポールハリスの言葉をもって答えたいと思います。

「ロータリーとは寛容である。親睦も大切だが、奉仕も大切。奉仕も大切だが、親睦も大切。しがたって、ロータリアンは寛容な心を持つことが大切である。自分の考えを相手に押しつけてはならない。ロータリーはこのような思考の世界の中にある。」

以上、ご清聴感謝致します。

ロータリーの目的(旧 綱領)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

The Object of Rotary is to encourage and foster the ideal of service as a basis of worthy enterprise and, in particular, to encourage and foster:

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

First: The development of acquaintance as an opportunity for service;

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

Second: High ethical standards in business and professions; the recognition of the worthiness of all useful occupations; and the dignifying of each Rotarian's occupation as an opportunity to serve society;

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；

Third: The application of the ideal of service in each Rotarian's personal, business, and community life;

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

Fourth: The advancement of international understanding, goodwill, and peace through a world fellowship of business and professional persons united in the ideal of service.